

血清アルブミンについての勉強会を行いました！

▶ NSTリンクナース勉強会風景



▼短期の栄養評価には アルブミン< RTP !

当院 NST への介入は低アルブミン血症で抽出される方が多いため、2021 年 1 月の NST リンクナース勉強会ではアルブミンの見方、その他の栄養評価指標について学びました。

アルブミンは、重要な栄養状態の指標となりますが、血中半減期は 21 日と長いことから、短期の栄養状態把握には以下の表に記した RTP (Rapid Turnover Protein) が有用となります。(表 2) ぜひご参考に。

当院では、Alb 値 **3.4g/dl 以下(基準値 3.8~5.3g/dl)** を **栄養不良** と定義しています。

表 2 RTP とアルブミンの半減期比較

栄養アセスメント タンパク	トランスサイレチン (プレアルブミン)	レチノール結合 タンパク	トランスフェリン	アルブミン
略号	TTR (PA)	RBP	Tf	Alb
半減期	2日	0.5日	7日	21日

【参考文献】日本静脈経腸栄養学会認定試験 基本問題集 (2016) 小立鉦彦発行

2020 年度

NST リンクナース活動を振り返って…

当院の NST リンクナースの活動は NST と主治医や病棟をつなぐ役割を担っていただくだけでなく、NST リンクナースミーティングや勉強会を通して最新の栄養の知識や専門的な技術を学び、病院全体のレベルアップに貢献していただいています。

今回は NST リンクナースの方々に、**1年間の活動を振り返って感じたことなどについてコメントを頂戴しました♪**



▲ ミーティング&勉強会風景

▼個々の患者に応じた食事提供、 栄養サポートの難しさを実感

私が NST リンクナースになって、栄養サポートの難しさを感じる 1 年でした。精神状態の悪化が栄養不良を招き、静脈、経腸栄養管理を実施したにもかかわらず、残念な結果になってしまった患者様がいました。栄養管理の早期対応が実施できなかったのが原因ではないかと考えています。患者様の病態に応じた食事を提供する難しさを日々感じる毎日です。 <第 6 病棟 三隅 Ns>

▼活発な意見交換・充実した勉強会による自己研鑽

NST の存在は知っていましたが、今回初めてチームの一員になり活動することで NST の重要性を再認識することができました。毎回活発な意見交換や、充実した勉強会のおかげで自己の栄養に対する知識も増え充実した一年間でした。今後も患者様一人ひとりに寄り添った栄養管理のお手伝いができるように学習を継続していきたいです。 <第 2 病棟 橋本 Ns>

▼他病棟患者の栄養状態や問題点についても情報共有

月に一度実施している NST リンクナース会議では、各病棟の Ns や コメディカルの方が集まり、NST 介入リストに基づいて患者さんの栄養状態や問題点について話し合いをしてきました。自身の所属する病棟の患者さん以外のことについて知ることができたり、議題に沿った勉強会が実施されたりと、たくさんの学びをできる機会となりました。一年間ありがとうございました。 <第 3 病棟 板東 Ns>



©いらすとや

NST リンクナースの皆様、一年間本当にお疲れさまでした！

< 2020 年度 NST リンクナースメンバー >

第 1 : 平丸 MM・高木 Ns 第 2 : 橋本 Ns 第 3 : 板東 Ns 第 4 : 堤谷 Ns
第 5 : 白井 Ns 第 6 : 三隅 Ns 第 7 : 里見 Ns 第 8 : 番匠 Ns 第 9 : 橋本 Ns